

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	屋外へ行き来が自由に出来、利用者の方が、地域の中で抑制の無い尊厳のある暮らしが実現できるよう、職員配置の工夫、時間帯等の工夫など、短時間からでも開錠できる積極的な取り組みを期待する。	時間を決め短時間からの開錠を実施する。	平成29年3月より、午後2時から午後4時までの時間の開錠を実施する。安全に行き来ができる様に、玄関前の事務所に管理者が座り見守りを行う。	3ヶ月
2	12	地域のニーズに応えられるよう、施設で最後を迎えることが出来る終末期ケアの在り方が検討され、ご家族、利用者の方が安心できる体制づくりを期待したい。	終末期ケアに関する学ぶ場と検討する場を設ける。	外部研修に参加し終末期ケアについて学ぶと同時に、施設で参考書等を準備し定期的に学習、検討する機会を設ける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。